

農業者が創る、地域の未来。 ～ 地域に担い手を呼び込もう ～

北陸農政局新潟県拠点

- 高齢化・人口減少が本格化する中で、**農業者の減少**や**耕作放棄地の拡大**が加速化し、**地域の農地が適切に利用されなくなる**ことが懸念されます。
- 地域計画（10年後の目標地図）の策定により明らかとなった、**受け手のいない農地**や**集積・集約が進まない**といった課題はありませんか。
- **新潟県拠点**では、これらの課題解決につながる県内の取組を取材し、皆様に**情報提供**していきます。

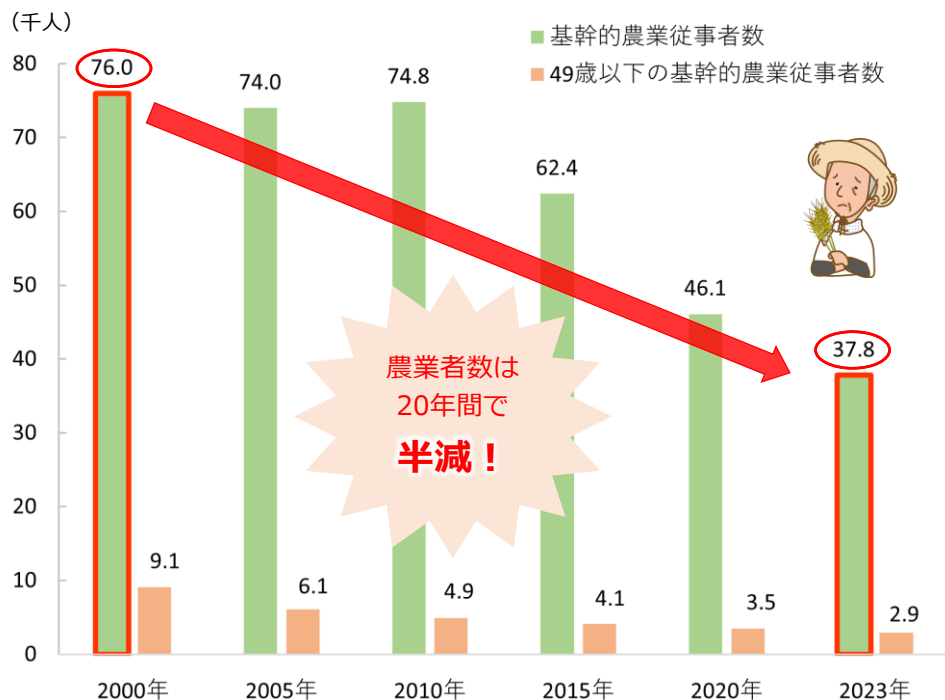
【お問い合わせ先】
地方参事官室（担い手担当）
TEL 025-228-5216

現状



新潟県の基幹的農業従事者数は
2000年から20年間で**約76,000人から約37,800人に半減**
49歳以下の基幹的農業従事者数は**約2,900人まで減少**

基幹的農業従事者数の推移（新潟県）



資料：農林水産省「農林業センサス」（2023年のみ「農業構造動態調査」）

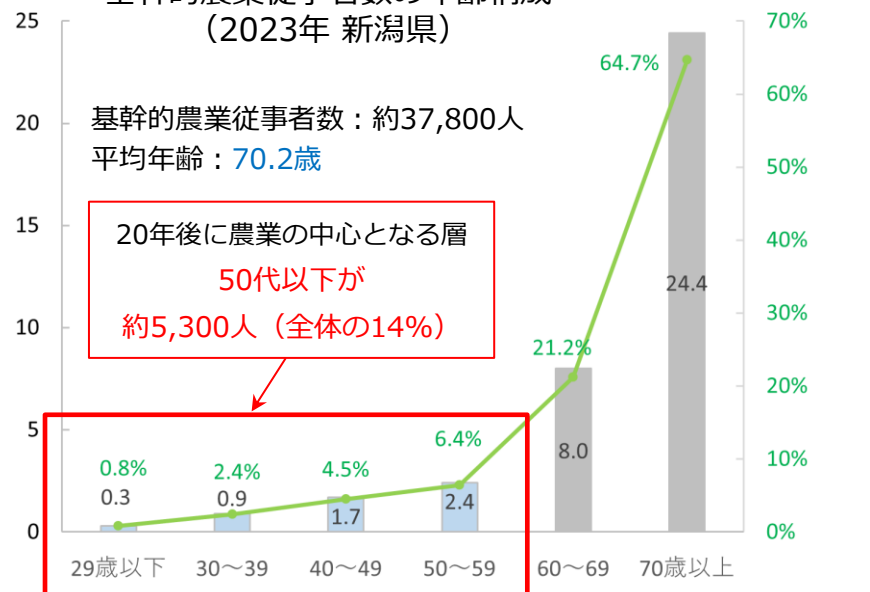
課題



20年後に農業の中心となる層（50代以下）は
約5,300人（全体の14%） 著しくアンバランス
このままでは将来、**農地の維持が困難**

(千人)

基幹的農業従事者数の年齢構成
（2023年 新潟県）



農地の
受け手が
いない

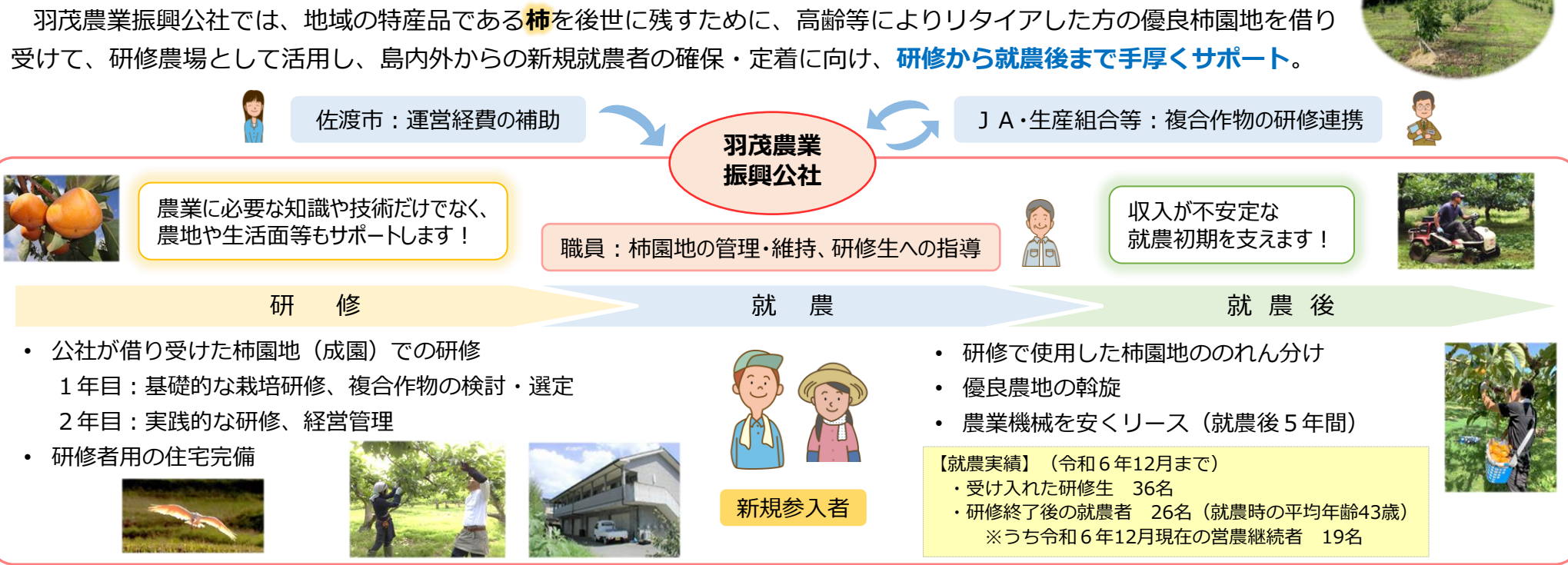


（地域計画の目標地図）

耕作
放棄地
の増加



1. 公益財団法人 羽茂農業振興公社（佐渡市）の取組



2. 若手農業者に聞きました！

- 農業に人を呼び込むにはどうしたら良いですか？
 - まずは**農業に興味を持ってもらう**ことが重要
 - 旅行ツアー等で、簡単な**農作業体験**の取組
 - 農業は**楽しくカッコいい**ものだ発信
 - 農産物 **オーナー制度**の導入
- 新規就農者を増やすためにはどうしたら良いですか？
 - 農機具のリースなど、農業がしやすい環境づくりが必要
 - 行政の新規就農制度をもっと周知
 - 親元就農を増やす取組が必要

3. 農林水産省の支援策

詳しくはこちら →
(農林水産省ホームページ)

新規就農者育成総合対策のうち
農地の受け手確保に向けた新規就農者誘致環境整備事業

- 新規就農者の誘致体制の整備
複数機関の協働による効果的な**誘致・支援体制の構築**、**誘致の実践**、**就農前後の方々に対するトータルサポート活動**を支援
- 研修農場（※）の整備
実践的な研修を行う**研修農場に必要な農業用機械・設備の導入、施設整備**を支援

※ J A、県、市町村など関係機関が連携して設立・運営し、就農希望者に対して、就農前の実践的な農作業や研修等を行う圃場。